

グループ概念

私たちの使命

すべての人の「生きる」に向き合う

あらゆる人の健康に資すること。これは創業から続く大切な想いです。私たちはこれまで、社会のすみずみまで医療が行きわたるように、さまざまな課題に挑戦し続けてきました。これからもこの志を胸に、生活の一番近くで医療を担う者として、お一人おひとりの「生きる」に真摯に向き合い、生涯にわたってあなたを支え続けます。

グループの目指す姿

誰もが一番に相談したくなる ヘルスケアグループへ

大切にする基本姿勢

「私たちの使命」と「グループの目指す姿」を実現するため、社員一人ひとりが大切にすべき5つの姿勢

コンプライアンスを徹底する。
相手を思いやる。
知見を深め、視野を広げる。
自ら考え、行動する。
新しい発想を、共に創る。



Who we are

トップメッセージ

私たちがつくりたい未来

持続的な経営基盤の強化

事業戦略

サステナビリティ

コーポレート・ガバナンス

データ

01

Who we are

● グループ概念

Our Story

At a Glance

価値創造のプロセス

Our Business(ビジネスモデル)

Our Stakeholders

編集方針・目次

Our Story

「真の医薬分業の実現」という創業理念のもと
1店舗の薬局から始まった私たちは、
「すべての人の『生きる』に向き合う」という使命を実現すべく、
時代の先を読みさまざまな医療ニーズに応えてきたことで、
業界を牽引するヘルスケアグループへと
成長を遂げてきました。

創業～
拡大期

1980 ゼロから分業マーケットを切り拓く

ほとんどが未分業であった札幌市内の診療所に分業を促し、その近くに出店するという独自の「マン・ツー・マン型薬局」でマーケットを開拓しました。

創業翌年には、患者さまにとってより利便性の高い「メディカルセンター型」薬局を独自に開設。その後は大型病院の分業にも進出したことで規模を拡大するとともに、医薬分業の浸透に貢献してきました。

■ 連結売上高の推移

1980 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 (年度)

成長期

2009 面対応薬局への挑戦

真の医薬分業を体現するため、特定の医療機関に依存せず、複数の医療機関からの処方箋を応需し、地域の医療提供拠点となる「対応応薬局」を推進します。利用者の利便性が高いエリアを設定し、独自のマーケティング手法など自社ノウハウを活用して出店を拡大、のちにハイブリッド型として発展してきました。

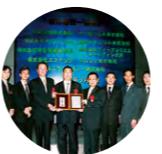


2012 日本医薬総合研究所を設立

日本調剤が保有する膨大な処方箋データを活用し、製薬企業などに向けた医薬品データ解析・情報提供、コンサルティングなどにより、業界の健全な発展とともに国民生活の向上につながる価値を生み出す事業を開始。2012年には同事業を引き継ぐ日本医薬総合研究所を設立し、現在も事業の幅を拡大しています。

2000 薬剤師派遣事業の開始

「医療従事者的人材不足、配置のミスマッチの課題解決」を目的として、日本調剤ファルマスタッフ(現メディカルリソース)を設立し、日本初の薬剤師派遣事業を開始しました。日本調剤の薬剤師事業に関する教育ノウハウを活用し、持続可能な医療体制の構築に貢献しています。

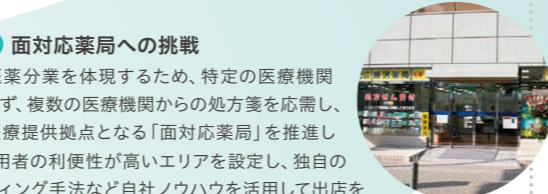


2004 東京証券取引所上場企業へ

2004年に東京証券取引所市場第二部に上場、さらに2006年には同第一部への指定変更となりました。日本を代表する調剤薬局企業として上場することは、会社の信用だけでなく薬局・薬剤師の地位向上に寄与することとなりました。

2005 医薬品製造販売事業への進出

当時の薬事法改正を機に、医薬分業推進の大きな鍵であったジェネリック医薬品の製造販売事業に進出、日本ジェネリックを設立しました。のちに長生堂製薬を買収し事業を拡大しています。



2014 電子お薬手帳の自社開発

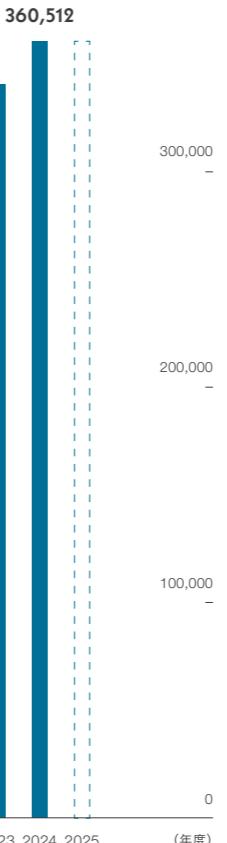
東日本大震災での経験を経て、災害時でも患者さまがご自身の服薬情報を入手できることの重要性を痛感していました。こうした背景から、お薬手帳の機能を持ちつつICTを活用し最新機能を搭載した、患者さまにとって使いやすい電子お薬手帳サービスの開発に取り組み、2014年、独自開発の電子お薬手帳「お薬手帳プラス」の運用を開始しました。



2025 株式を非公開化し新たなフェーズへ

2025年12月、日本調剤グループは株式を非公開化し、アドバンテッジパートナーズおよびLYFE Capitalの傘下に入ります。両社のノウハウやシナジーを活かし、新たなフェーズでさらなる企業価値向上を目指していきます。

(百万円)
400,000
300,000
200,000
100,000
0



発展期

01

Who we are

グループ理念

● Our Story

At a Glance

価値創造のプロセス

Our Business(ビジネスモデル)

Our Stakeholders

編集方針・目次

Who we are

トップメッセージ

私たちがつくりたい未来

持続的な経営基盤の強化

事業戦略

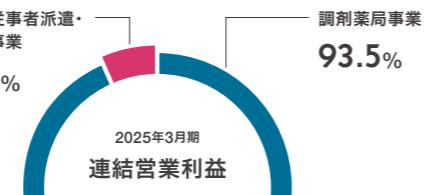
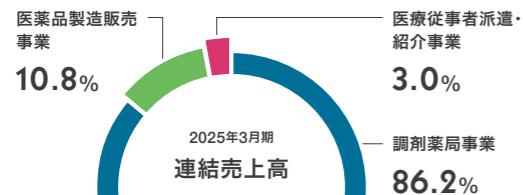
サステナビリティ

コーポレート・ガバナンス

データ

At a Glance

2025年3月期実績



EBITDA

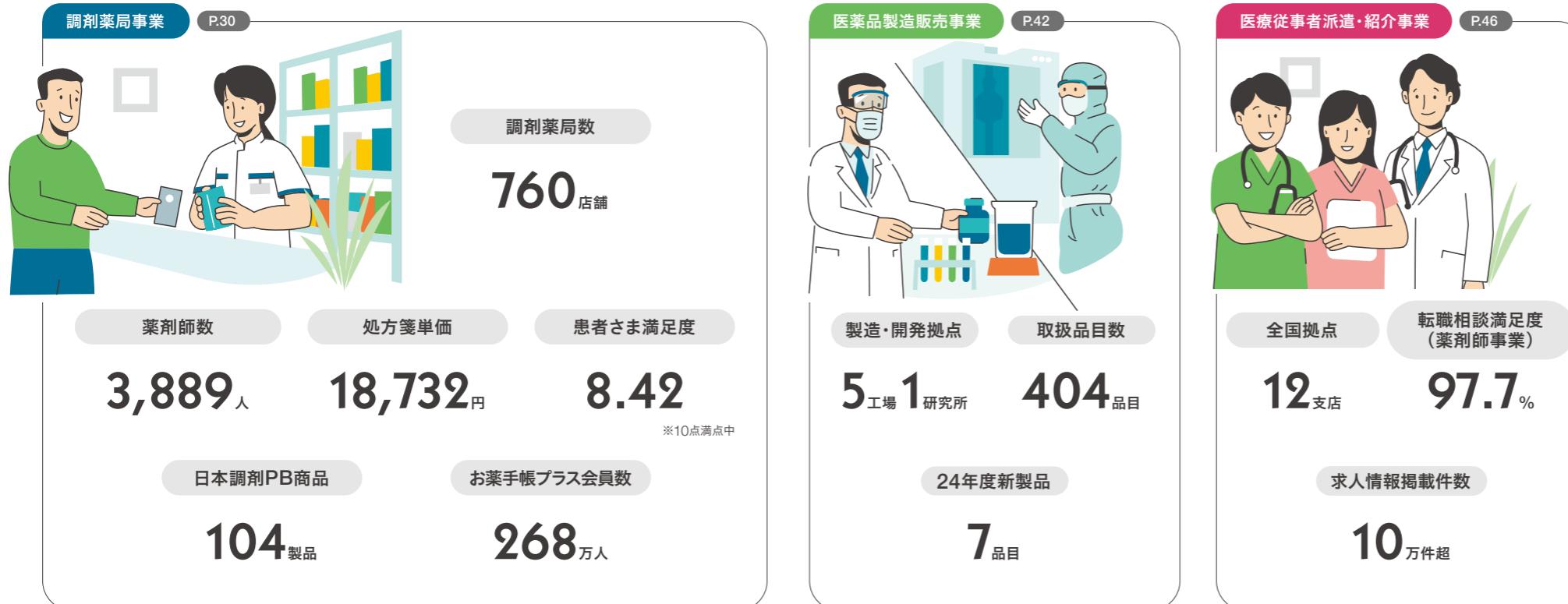
158
億円

従業員数 (連結/パート含む)

6,811
人

エンゲージメントスコア

3.50



※1 連結売上高、連結営業利益は、3つの事業セグメントの合算数値による構成比率です。調整額を控除しておりません。各数値は単位未満を切り捨て、比率については単位未満を四捨五入しております。医薬品製造販売事業については営業損失(△630百万円)のため連結営業利益のグラフには反映しておりません。

※2 連結売上高、連結営業利益、人事指標は2025年3月末時点、それ以外の指標は2025年9月末時点の数値となっております。

Who we are

Who we are

グループ理念

Our Story

● At a Glance

価値創造のプロセス

Our Business(ビジネスモデル)

Our Stakeholders

編集方針・目次

トップメッセージ

私たちがつくりたい未来

持続的な経営基盤の強化

事業戦略

サステナビリティ

コーポレート・ガバナンス

データ

Who we are

グループ理念

Our Story

● At a Glance

価値創造のプロセス

Our Business(ビジネスモデル)

Our Stakeholders

編集方針・目次

持続的な経営基盤の強化

事業戦略

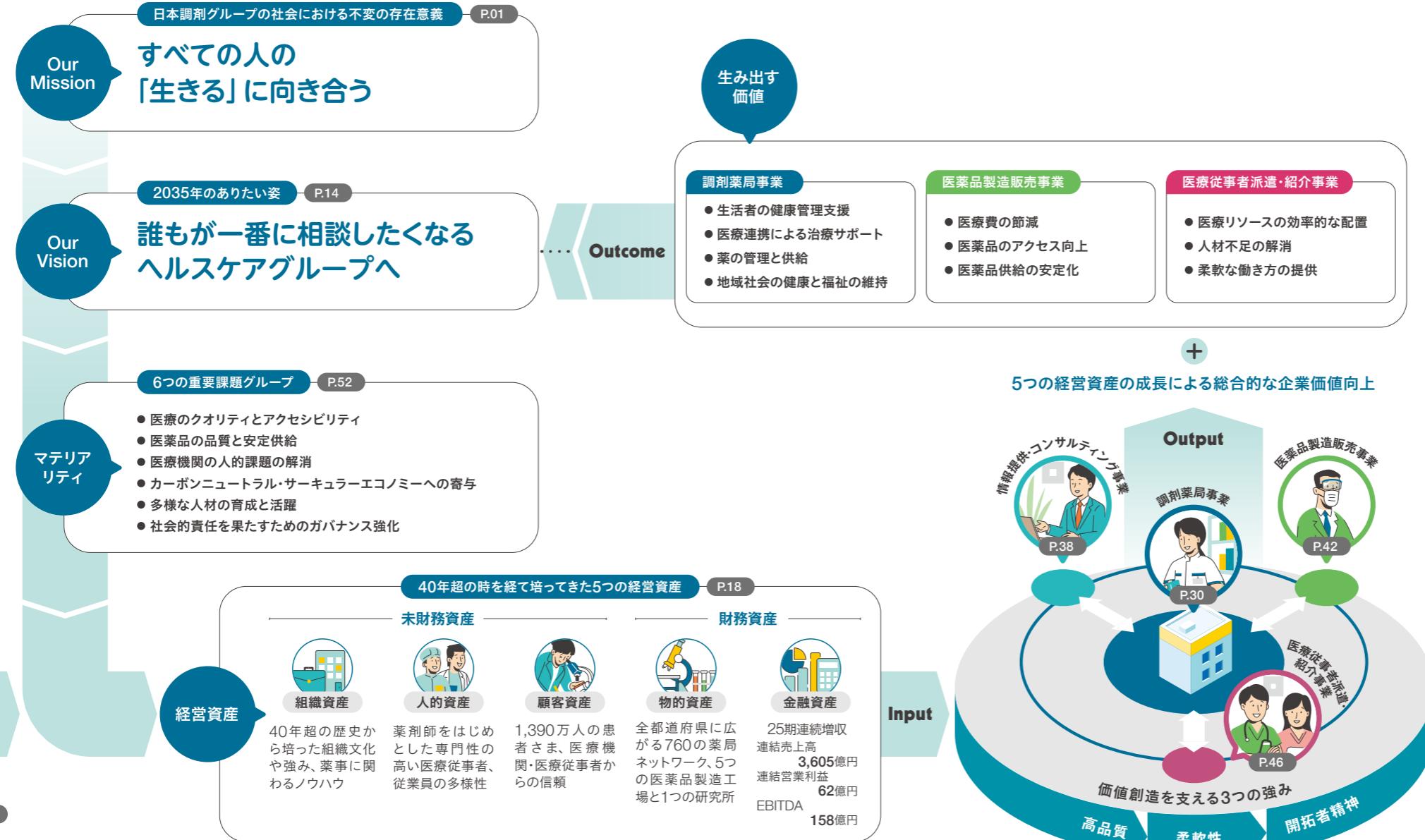
サステナビリティ

コーポレート・ガバナンス

データ

01

価値創造のプロセス



01

Who we are

- グループ理念
- Our Story
- At a Glance
- 価値創造のプロセス
- Our Business (ビジネスモデル)
- Our Stakeholders
- 編集方針・目次



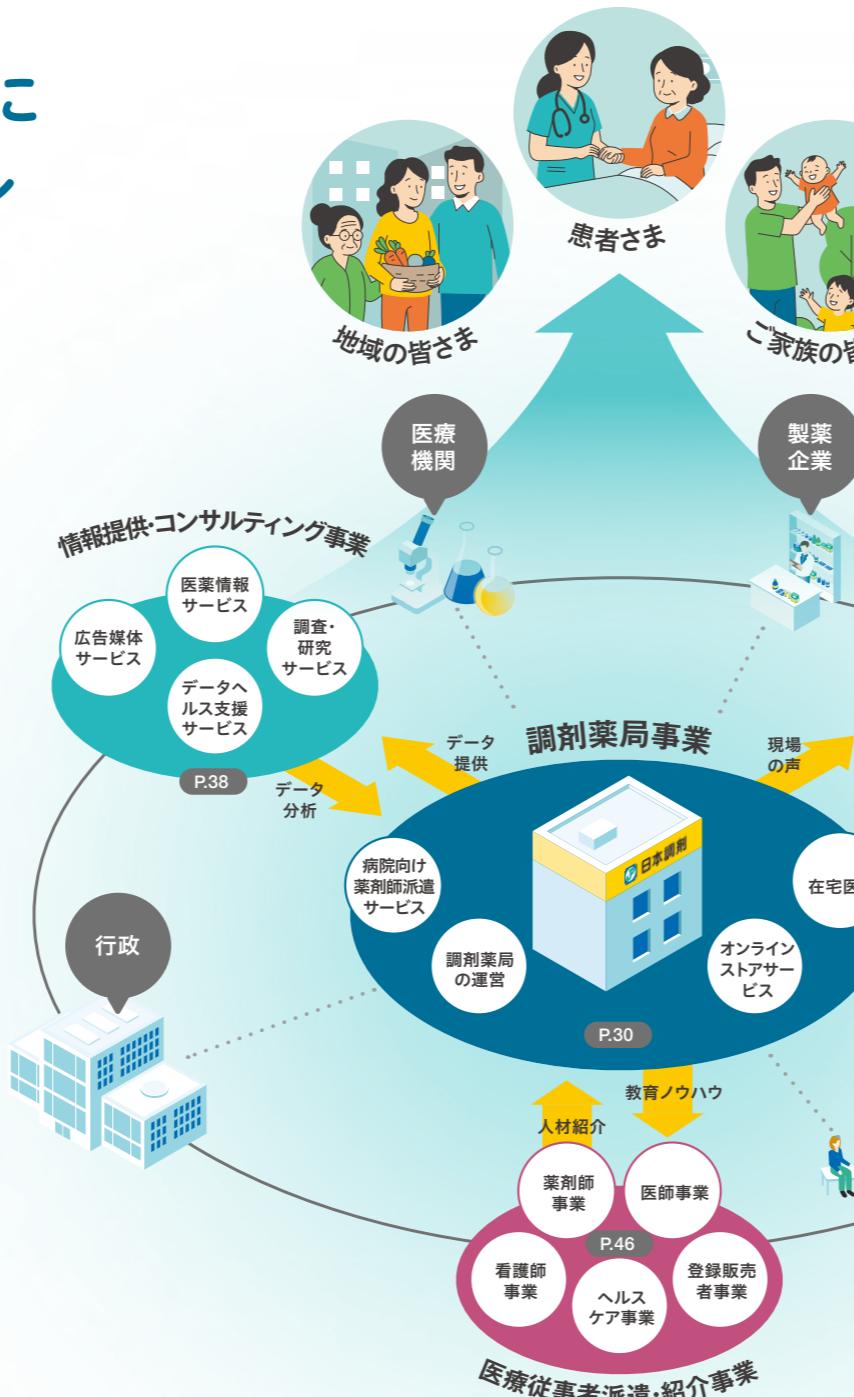
すべての人の「生きる」に 向き合うビジネスモデル

私たちのサービスの先にいらっしゃるのは、患者さまはもちろんのこと、ご家族の皆さま、そして地域社会で暮らす皆さまを含むすべての人です。私たちは、関わるすべての人々の「生きる」に貢献することを使命としています。

この使命のもと、私たちは調剤薬局事業、医薬品製造販売事業、医療従事者派遣・紹介事業、情報提供・コンサルティング事業の4つの事業を展開しています。これらの事業は互いに有機的に連携し、シナジーを生み出すことで、他に類を見ない総合的なヘルスケアサービスを提供できる体制を築いています。

さらに、私たちの価値創造はグループ内にとどまりません。行政、医療機関、製薬企業といった多様なパートナーの皆さまと共に新たな価値を創造することで、サービスの質を絶えず高めています。

事業間の連携と外部パートナーとの共創という協業体制を通じて、生活の一番近くで医療を担う者として、お一人おひとりの「生きる」に真摯に向き合い続けます。



01

Who we are

グループ理念

Our Story

At a Glance

価値創造のプロセス

● Our Business(ビジネスモデル)

Our Stakeholders

編集方針・目次

Who we are

トップメッセージ

私たちがつくりたい未来

持続的な経営基盤の強化

事業戦略

サステナビリティ

コーポレート・ガバナンス

データ

ステークホルダーエンゲージメント



Why we engage (目的)

日本全国に良質な医療を提供する医療機関として、患者さま・お客さまの求める医療のあり方を追求することが、当社の長期的な発展に重要であると考えています。日本調剤グループは、患者さま・お客さまが日本全国の当社グループの薬局およびオンライン薬局サービスで安心して最適な医療の提供を受けることができるよう日々努力しています。

地域医療を担う医療機関・医療従事者として、患者さま・地域医療のために適切な医療連携を行い、持続可能な日本の医療制度の維持に貢献しています。また、医療従事者が不足している医療機関に対しては、日本調剤グループの医療従事者派遣・紹介事業を通じて、適切な医療人材の供給を行い、医療の地域格差を正に貢献しています。

持続的な成長を実現していくためには、日本の医療を支える医療従事者として誇りを持って働くことができる職場づくりが不可欠です。日本調剤グループは、働きやすく、働きがいのある職場づくりはもちろん、従業員エンゲージメント・サービスを実施し、従業員エンゲージメントの向上に努めています。

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けた、適切な情報開示と建設的な対話を重視しています。これまでのIR活動や、株主・投資家の皆さまとの対話を得られた評価やご要望を社内に共有し、経営に反映しています。

行政機関との適切な協働は日本調剤グループのビジネスに欠かすことできません。日本調剤グループは、地域医療制度に貢献するため、行政機関とのエンゲージメントを継続していきます。

地域医療に貢献するため、社会におけるさまざまなステークホルダーとの協働は当社ビジネスにおいて重要です。患者さま・お客さまが安心・安全に暮らせる日々のために、日本調剤グループは、日本全国で最良の医療の提供を続けていきます。

広範な事業領域を有する日本調剤グループにおいては、各事業パートナーと良好な関係を維持することが不可欠です。事業パートナーとの協働により社会に大きな価値を生み出し、多様なヘルスケアサービスに対応できるよう取り組みを進めています。

Stakeholders' interest (期待・要請)

- 安心・安全で高品質な医療の提供
- 必要なときに利用できる薬局／在宅での医療の提供
- 高い医療品質と利便性を兼ね備えたオンライン薬局サービス
- 高品質な医薬品の供給

- 持続可能な地域医療体制の構築に向けた医療機関連携
- 医療人材不足からくる地域間医療格差の是正
- 専門性の高い薬局薬剤師との協働

- 安心・安定して働ける職場
- DE&Iへの取り組み
- 日本の医療に貢献できるやりがいのある職業
- 安定した雇用の維持

- 持続的成長
- 中長期的な企業価値の向上適切な情報開示

- 安全性・安定性が担保された医療の提供
- 医薬品の安定供給
- 行政機関との協働
- 社会保障費の抑制
- 省庁方針への理解

- 地域の医療ステーション
- かかりつけ薬局、薬剤師
- 社会貢献活動
- 医療機関連携や高度医療の提供などの機能を有する薬局の拡大
- 価値または対価の提供
- 長期的な共創関係の構築
- 良質なヘルスケアサービスの提供

How we respond (施策)

- 全都道府県にある日本調剤の薬局での、高品質な医療の提供
- 日本ジェネリックブランドによる高品質なジェネリック医薬品の提供
- 日本調剤オンライン薬局サービス「NiCOMS」の提供
- 電子お薬手帳「お薬手帳プラス」の機能拡張

- 高品質な医療機関との医療連携
- 医療機関と医療従事者をつなぐ、ミスマッチのない医療従事者向けの派遣・紹介事業
- 医薬品の安全性、品質の担保

- 安定した財務基盤を有する医療機関での労働環境の提供
- 医療従事者としてやりがいを実感できる幅広い職種の提供
- 日本調剤グループにおける安定した雇用(給与・福利厚生)
- 業界でもトップクラスの充実した研修制度
- 女性活躍推進を掲げた柔軟なキャリアプランの提供

- 健全な財務体制と持続的成長に向けた成長戦略
- 株主・投資家とのエンゲージメント活動

- 高品質なジェネリック医薬品の開発・製造・販売および安定供給に向けた取り組み
- ジェネリック医薬品の使用促進、多剤投与(ポリファーマシー)解消への取り組みによる医療費の削減
- 地域医療への貢献
- 医療DXへの取り組み

- 地域住民に対する健康サポート機能や栄養相談機能
- 調剤薬局を通じた安心して暮らせる地域医療体制の提供
- 地域連携薬局、専門医療機関連携薬局、健康サポート薬局の全国での拡大
- サステナビリティ経営の推進
- 良質なヘルスケアサービスの提供
- 連携・協働によるイノベーションの創出
- 全国に薬局がある強みを活かした広範な事業展開

目次

01

Who we are

グループ理念	01
Our Story	02
At a Glance	03
価値創造のプロセス	04
Our Business(ビジネスモデル)	05
Our Stakeholders	06
編集方針・目次	07

02

トップメッセージ

08

トップメッセージ

03

私たちがつくりたい未来

長期ビジョン2035 3つの柱	14
外部環境、リスクと機会	15
ロードマップ	16

04

持続的な経営基盤の強化

長期ビジョン2035 5つの資産	18
人的資産の強化	19
あらゆるニーズへの対応	26
DX戦略	27
事業ポートフォリオ	28

05

事業戦略

調剤薬局事業	30
情報提供・コンサルティング事業	38
医薬品製造販売事業	42
医療従事者派遣・紹介事業	46

06

サステナビリティ

基本方針、体制	51
マテリアリティ	52
取り組み	53
CSR座談会	54

07

コーポレート・ガバナンス

方針、取締役会の状況、体制	56
実効性評価、役員報酬	57
委員会の状況	59
リスク・コンプライアンス	60
社外取締役メッセージ	63
役員一覧	65

08

データ

会社情報	67
11年データ	68
外部評価	69

編集方針・目次

01

Who we are

グループ理念
Our Story
At a Glance
価値創造のプロセス
Our Business(ビジネスモデル)
Our Stakeholders
● 編集方針・目次

Who we are

トップメッセージ

私たちがつくりたい未来

持続的な経営基盤の強化

事業戦略

サステナビリティ

コーポレート・ガバナンス

データ

統合報告書2025発行にあたって

日本調剤グループは「すべての人の『生きる』に向き合う」ヘルスケアグループとして、事業活動を通じた社会的・経済的価値の創出により、中長期的な企業価値の向上に取り組んでいます。

統合報告書は私たちの経営方針や事業戦略および中長期の企業価値創造ストーリーについて、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さんにお伝えするためのエンゲージメントツールとして発行しています。

「統合報告書2025」では、2024年9月に公表した「長期ビジョン2035」を軸として、ビジョン達成に向けた第1フェーズでの戦略と取り組みについて内容を拡充いたしました。読者の皆さんにおかれましては、変革の最中にある日本調剤グループの新しい価値創造に対して、ご理解および共感を深めていただけ一助となれば幸いです。

報告対象期間

2025年3月期(2024年4月～2025年3月)を対象としていますが、必要に応じて2025年3月期以前および2026年3月期についても言及しています。

将来見通しに関する注意事項

「統合報告書2025」は、日本調剤グループの計画、戦略、業績などに関する将来の見通しを含んでいます。これらの記述は現在入手可能な情報から得られた経営陣の判断に基づいています。実際の業績などは、さまざまにリスクや不確実性の影響を受けるものであり、これらの見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知ください。

将来の見通しに影響を与える要素には、事業領域を取り巻く経済情勢、関連する法令などの改定状況、診療報酬改定状況、製品の開発状況などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。